

グルメ杵屋グループ『水間鉄道』が 「貝塚みずま春フェスタ」に参加！ 地域振興・再生、持続可能なまちづくりの実現に貢献！

グルメ杵屋のグループ会社である水間鉄道株式会社は2023年3月26日貝塚市が主催した「貝塚みずま春フェスタ」に参加しました。小雨の中、水間鉄道沿線にお住まいの方や観光客など、1000人以上の方にご来場いただきました。

会場の一つである水間寺では、参詣のための街道である「水間街道」の昔を振り返る写真の展示や地元の名・特産品の販売、貝塚にゆかりのある講師「旭堂南華」さんによる「お夏清十郎」の講演、猿回しなど、大人から子どもまで楽しめる様々なイベントが数多く催されました。

もう一つの会場である水間観音駅と水間寺を結ぶ水間街道では人力車が登場。市のマスコットキャラクターである「つげさん」デザインの風船も配布され、参道を活気付けました。

水間観音駅では、人気YouTuber「ZAKI」氏とのコラボ列車が運行、鉄道系音楽アーティストグループ「半熟BLOOD」によるミニライブと共に盛り上がりを見せました。物販では貝塚市の特産品である「木積産たけのこ」や「ローカル鉄道グッズ」を販売。普段は営業列車として運行されている電車を駅ホームに留置、車内では昔懐かしい駄菓子屋さんが出店し訪れた方々に楽しんで頂きました。

水間鉄道は今後とも地域に根差したまちづくりに貢献するため、日々安全に運行してまいります。

(上)左・中・右写真: 水間鉄道沿線地域の懐かしい写真のパネル展示、半熟BLOOD様のライブ、小雨の中で走る人力車を楽しむ外国人観光客
(下)左・中・右写真: 水間鉄道の水間観音駅で販売していた地元人気特産「木積産たけのこ」、「ローカル鉄道グッズ」、「グルメ杵屋のキッチンカー」



【水間鉄道株式会社概要】

○社名：水間鉄道株式会社（Mizuma Railway Co.,Ltd.）

○本社：〒597-0001

大阪府貝塚市近木町2番2号

○代表取締役：藤本 昌信

○従業員数：61名（令和3年3月31日現在）

○その他：

運行区間：貝塚駅～水間観音駅

営業キロ：5.5キロ（単線）

駅数：10駅（内、駅員無配置駅8駅）

車両数：10両

列車本数：平日90列車・土休日76列車

営業開始：大正14年12月24日

○公式サイト：<https://www.suitetsu.com/index.html>

○公式Twitter：<https://twitter.com/MizumaRailway>



水間鉄道は大阪府貝塚市内を運行する、天台宗別格本山龍谷山水間寺＝通称「水間観音」への参詣客を輸送することを主要な目的として大正14年（1925年）に開設された鉄道です。南海電鉄南海本線の急行停車駅である貝塚駅に接する貝塚駅を起点とし、水間観音駅に至る延長5.5kmの単線の路線です。

昭和40年代の高度成長期以降、水間鉄道では不動産事業を拡大したが、1990年代に入ってからバブル経済崩壊により負債が膨らみ、自動車の普及に伴う利用者数の減少とあいまって、2005年5月31日会社更生法の適用により水間鉄道は事実上倒産しました。その後、経営陣を入れ替え、株式会社グルメ杵屋が事業管財人となって会社更生を果たしています。

グルメ杵屋は飲食業を中心としていますが、社会貢献の一環として水間鉄道の支援に取り組んでいます。

経営支援以降、様々な対策を打って徹底的な合理化と経営努力により会社が黒字化に転換、現在も貝塚市の、沿線の方の「地域の足」として貢献しています。

